

公益財団法人千葉県市町村振興協会 平成 26 年度 事業報告 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

1 市町村振興宝くじ収益金の配分状況

(1) サマージャンボ宝くじ及びサマージャンボミニ6000万(以下、サマージャンボ等宝くじ。)

平成 26 年度サマージャンボ等宝くじは、発売計画額 1,050 億円(サマージャンボ宝くじ 780 億円、サマージャンボミニ 6000 万 270 億円)に対し、発売実績額は 857 億 3,530 万 200 円(前年度比 58 億 2,658 万 8,600 円、6.4%減)となり、この収益に係る各都道府県協会への配分総額は 349 億 4,230 万 76 円で、本協会へは 13 億 5,353 万 5,257 円の配分となった。

また、平成 25 年度時効金に係る各都道府県協会への配分総額は 23 億 3,165 万 5,652 円で、本協会へは 9,009 万 813 円の配分となった。

合わせて、平成 26 年度の本協会への配分額は、14 億 4,362 万 6,070 円(前年度比 1 億 4,539 万 2,871 円、9.1%減)となった。

なお、配分金の 10%(1 億 4,436 万 2,604 円)は、全国市町村振興協会へ納付するので、本協会への実質的配分金は 12 億 9,926 万 3,466 円となった。

	千葉県からの交付金	本協会分(90%)	全国協会納付金(10%)
概算配分額(A)	1,291,717,428 円	1,162,545,686 円	129,171,742 円
追加配分額(B)	61,817,829 円	55,636,047 円	6,181,782 円
時効配分額(C)	90,090,813 円	81,081,733 円	9,009,080 円
合計	1,443,626,070 円	1,299,263,466 円	144,362,604 円

対前年度比 90.9%

(前年度 1,430,117,049 円)

※表中 (A) 及び (B) は平成 26 年度収益金の配分額、(C) は平成 25 年度時効金の配分額

(2) オータムジャンボ宝くじ

平成 26 年度オータムジャンボ宝くじは、発売計画額 390 億円に対し、発売実績額は 342 億 5,928 万 4,800 円(前年度比 25 億 1,943 万 7,200 円、6.9%減)となり、この収益金に係る各都道府県協会への配分総額は 140 億 1,585 万 1,472 円で、本協会へは 5 億 4,423 万 5,501 円(前年度比 6,846 万 9,629 円、11.2%減)の配分となった。

また、平成 25 年度時効金に係る各都道府県協会への配分総額は 6 億 4,271 万 7,143 円で、本協会へは 2,503 万 3,832 円の配分となった。

合わせて、平成 26 年度の本協会への配分額は、5 億 6,926 万 9,333 円（前年度比 8,749 万 4,365 円、13.3%減）となった。

	千葉県からの交付金
収益配分額	466,464,749 円
追加配分額	77,770,752 円
時効配分額	25,033,832 円
合 計	569,269,333 円

対前年度比 86.7%（前年度 656,763,698 円）

2 事業

（1）市町村等に対する資金貸付事業（定款第 4 条第 1 項第 1 号）

事業費 3,719,600,000 円（予算額 4,200,000,000 円）

本事業は、市町村及び一部事務組合に対し、災害対策事業及び施設等整備事業の資金として貸し付ける事業である。26 年度は、40 団体の 120 事業に対し 37 億 1,960 万円を貸し付けた。

- ・貸付日 平成 27 年 3 月 30 日
- ・償還期限及び貸付利率

15 年償還（うち 3 年据置）	0.2%
12 年償還（うち 2 年据置）	0.1%
10 年償還（うち 2 年据置）	0.1%
5 年償還（うち 1 年据置）	0.1%
- ・償還方法 半年賦元金均等償還
- ・貸付団体別貸付事業及び貸付額 別添「事業報告関係資料集」参照

（2）市町村振興宝くじ交付金の市町村への交付事業（定款第 4 条第 1 項第 2 号）

ア 新市町村振興宝くじ（オータムジャンボ宝くじ）市町村交付金

事業費 569,313,000 円（予算額同額）

新市町村振興宝くじ（オータムジャンボ宝くじ）に係る交付金は、千葉県からの交付金 569,269,333 円に対し、利息等を加え端数調整して、県内 53 市町村に 569,313,000 円交付した。

- ・県交付金収入 569,269,333 円
- ・市町村交付金交付額 569,313,000 円
- ・配分基準

a	交付金総額の 2 分の 1 を均等割りとする。
b	交付金総額の 2 分の 1 を人口割とする。
c	合併市町村に対しては、均等割配分において 5 年間の経過措置を行う。
- ・交付金の単位 単位は千円単位とし、千円未満の端数は翌年度に繰越のうえ翌年

度交付金と合わせて交付する。

- ・ 交付日 平成 27 年 3 月 25 日
- ・ 市町村別交付額 別添「事業報告関係資料集」参照

イ 市町村振興宝くじ（サマージャンボ宝くじ）市町村交付金

事業費 600,000,000 円（予算額同額）

千葉県から交付を受けたサマージャンボ宝くじの収益金を積み立ててきた基金の一部を取り崩し、下記のとおり市町村に交付した。

- ・ 市町村交付金交付額 600,000,000 円
- ・ 配分基準 a 交付金総額の 2 分の 1 を均等割りとする。
b 交付金総額の 2 分の 1 を人口割とする。
- ・ 交付金の単位 単位は千円単位とし、千円未満の端数は切り捨てる。
- ・ 交付日 平成 26 年 9 月 25 日
- ・ 市町村別交付額 別添「事業報告関係資料集」参照

（3）市町村職員研修事業への助成事業（定款第 4 条第 1 項第 3 号）

ア 市町村職員研修派遣助成事業 事業費 8,327,496 円（予算額 11,200,000 円）

財団法人全国市町村研修財団が計画し実施する「市町村職員を対象とした専門的かつ実務的な研修」に、市町村が職員を研修生として派遣し受講させる際に要する研修経費を助成する事業で、市町村アカデミーに派遣された 31 団体（26 市 3 町 2 一部事務組合）354 人に対し研修負担金を助成した。

イ 千葉県市町村総合事務組合「自治研修センター」研修助成事業

事業費 77,500,000 円（予算額同額）

県内市町村職員のための広域研修機関である「自治研修センター」では、市町村職員が効率的な行政運営を行うための能力向上を図ることを目的とした各種研修事業を実施している。

県内市町村の厳しい財政状況等を勘案し、市町村が負担すべき同研修センターの運営に要する経費相当額を市町村に代わり助成した。

（4）市町村振興共同事業への助成事業（定款第 4 条第 1 項第 4 号）

ア 消防救急無線共同整備事業助成事業 事業費 10,000,000 円（予算額同額）

県内市町村が共同で実施する「消防救急無線共同整備事業」について、同無線設備の管理を行っている千葉県市町村総合事務組合に対し、管理及び運営に係る経費を助成した。

イ 千葉県自治会館管理運営助成事業 事業費 29,604,000 円（予算額 29,632,000 円）

市町村の振興と発展に寄与する拠点施設である千葉県自治会館の継続的な維持・管理運営が図られるよう、施設管理を行っている千葉県市町村総合事務組合に対し、管理運

営費を助成した。

ウ 広域消防航空特別応援経費助成事業 事業費 576,033 円（予算額 500,000 円）

千葉県広域消防相互応援協定に基づく航空特別応援について、千葉市の消防ヘリコプターによる応援を受けた市町村が負担すべき経費相当額を助成した。（6 団体 8 件）

エ 一般財団法人地域活性化センター一会費助成事業 事業費 6,230,000 円（予算額 6,230,000 円）

一般財団法人地域活性化センターに係る市町村年会費相当額を助成した。

オ 市町村関係団体地域振興事業助成 事業費 12,300,000 円（予算額同額）

千葉県市長会、千葉県町村会、千葉縣市議会議長会、千葉県町村議会議長会が実施する研修事業及び市町村の振興並びに行財政の健全化、行政運営の合理化を図ることを目的に実施する事業に対し、次のとおり助成した。

（ア）千葉県市長会	4,000,000 円
（イ）千葉県町村会	3,800,000 円
（ウ）千葉縣市議会議長会	2,700,000 円
（エ）千葉県町村議会議長会	1,800,000 円

（5）市町村職員研修事業（定款第 4 条第 1 項第 5 号）

事業費 13,863,783 円（予算額 13,864,000 円）

諸外国における行政の実情を調査研究することにより、国際的視野と見識をもった職員を養成し、行政能力の向上を図り、もって地方自治の伸展に資するため市町村職員海外派遣研修事業を実施した。

- ・ 期 間 平成 26 年 6 月 29 日（日）～同年 7 月 6 日（日）
- ・ 訪問国 フィンランド、イギリスの 2 カ国
- ・ 参加者 県内 24 団体から、25 名の職員が参加
- ・ テーマ 地域振興、福祉、環境
- ・ 事前研修 第 1 回事前研修会（平成 26 年 5 月 9 日）

【講演 1】

欧州の成熟社会と生活大国を視る眼—発想と実践—
～地元から始める成長社会と経済大国からの進化～

講師・株式会社コンシスト

地域デザイナー 傍士 銚太 氏

【講演 2】

フィンランド・イギリスの地方自治制度と海外調査の留意点

講師・明治大学公共政策大学院

ガバナンス研究科 教授 山下 茂 氏

【説明会】

団員自己紹介、渡航に関する事項、行政視察関係、班別打合せ

第2回事前研修会（平成26年5月16日）

【講演3】

イギリスの社会福祉 ～日本との比較を踏まえて～

講師・お茶の水女子大学大学院

人間文化創成科学研究科 教授 平岡 公一 氏

【講演4】

地方自治体の環境エネルギー政策

～海外事例の見方と日欧比較～

講師・総合地球環境学研究所

プロジェクト研究員 増原 直樹 氏

第3回事前研修会（平成26年6月10日）

渡航前の最終確認、各班に分かれて質問事項の検討等

・現地研修 2カ国にて、3テーマで計6回の視察研修を実施

・事後研修 第1回事後研修会（平成26年7月18日）

各団員より所感発表、各班に分かれて報告書作成に係る討議等（報告書骨子及び成果発表骨子に関する討議）

編集会議（平成26年7月30日）

報告書作成に係る討議（班毎に会議開催）

第2回事後研修会及び研修成果発表会（平成26年8月8日）

班毎に、研修成果発表会資料の調製・発表準備、報告書作成の最終確認、研修成果発表会（1班「地域振興」、2班「福祉」、3班「環境」）

・報告書 平成26年10月17日、県内市町村等へ配布

・講演録 平成26年12月9日、県内市町村等へ配布

（6）市町村振興宝くじに係る広報宣伝事業（定款第4条第1項第6号）

事業費 7,698,780 円（予算額 7,700,000 円）

当協会の事業実施の原資となる市町村振興宝くじ（サマージャンボ宝くじ）及び新市町村振興宝くじ（オータムジャンボ宝くじ）の発売計画額の達成と県内販売額の増加に向けて、各種広報媒体を活用し広報宣伝事業を次のとおり実施した。

ア サマージャンボ等宝くじ

（ア）JR千葉駅及びJR海浜幕張駅での告知

<期間> 平成26年7月10日～23日（14日間）

<内容> JR千葉駅東口外柱シート（縦2.55m×横0.83m）2本及びJR海浜幕張駅改札外横断幕（縦0.6m×横6.0m）による告知

（イ）テレビでの告知（千葉テレビ）

<期間> 平成26年7月11日～23日（7月18日及び21日を除く11日間）

<内容> 15秒CMを11本

（ウ）ラジオでの告知（ベイFM）

<期間> 平成 26 年 7 月 14 日～21 日 (8 日間)

<内容> 20 秒CMを 25 本

(エ) QVC マリンフィールド (プロ野球) 大型映像ビジョンによる告知

<期間> 平成 26 年 7 月 5 日、6 日、14 日、15 日、16 日 (計 5 試合)

<内容> プロ野球・千葉ロッテマリーンズ戦の 5 試合において、1 試合につき 2 回 (計 10 回) の映像及びアナウンスにより告知

(オ) 日立柏サッカー場 (Jリーグ) 大型映像ビジョンによる告知

<期間> 平成 26 年 7 月 19 日

<内容> Jリーグ・柏レイソル戦の 1 試合において、2 回の映像及びアナウンスにより告知

(カ) 新聞による告知

<期間> 平成 26 年 7 月 8 日、14 日、20 日

<内容> 読売新聞、朝日新聞、毎日新聞の朝刊 (各紙の千葉県版) への広告掲載

(キ) 生活情報紙「リビング千葉・7 月 19 日号 (宅配フリーペーパー)」への広告掲載

(ク) 公益財団法人千葉県文化振興財団主催発行物「7 月催し物予定表」への広告掲載

(ケ) 市町村広報紙への広告掲載

(コ) 機関紙「振興ちば」への広告掲載

(サ) 平成 26 年度市町村・一部事務組合職員名簿への広告掲載

(シ) 当協会ホームページへの広告掲載

イ オータムジャンボくじ

(ア) JR 船橋駅での告知

<期間> 平成 26 年 9 月 26 日～10 月 9 日 (14 日間)

<内容> JR 船橋駅改札外のフロア広告 (縦 2.5m×横 2.5m) による告知

(イ) ラジオでの告知 (ベイ FM)

<期間> 平成 26 年 10 月 2 日～9 日 (8 日間)

<内容> 20 秒CMを 8 本

(ウ) QVC マリンフィールド (プロ野球) 大型映像ビジョンによる告知

<期間> 平成 26 年 9 月 20 日、21 日、23 日、24 日 (計 4 試合)

<内容> プロ野球・千葉ロッテマリーンズ戦の 4 試合において、1 試合につき 2 回 (計 8 回) の映像及びアナウンスにより告知

(エ) 日立柏サッカー場 (Jリーグ) 大型映像ビジョンによる告知

<期間> 平成 26 年 9 月 23 日

<内容> Jリーグ・柏レイソル戦の 1 試合において、2 回の映像及びアナウンスにより告知

(オ) 新聞による告知

<期間> 平成 26 年 9 月 26 日、10 月 2 日

<内容> 読売新聞、朝日新聞、毎日新聞の朝刊 (各紙の千葉県版) への広告掲載

(カ) 生活情報紙「リビング千葉・9 月 27 日号 (宅配フリーペーパー)」への広告掲載

- (キ) 公益財団法人千葉県文化振興財団主催発行物「9月・10月催し物ご案内」への
広告掲載
- (ク) 市町村広報紙への広告掲載
- (ケ) 機関紙「振興ちば」への広告掲載
- (コ) 当協会ホームページへの広告掲載

(7) 市町村広報支援事業（定款第4条第1項第7号）

市町村の広報活動を支援するため、次のとおり実施した。

ア 市町村情報システム 事業費 12,531,520 円（予算額 13,384,000 円）

千葉テレビのデータ放送を活用した「市町村情報システム」を運用し、県内市町村から県民へ発信する行政からのお知らせやトピックス、地域のイベント・観光情報などを発信した。

イ 市町村広報番組「おじゃまします市町村街かどクイズ」

事業費 43,750,044 円（予算額 43,751,000 円）

県内市町村の観光情報やイベント、歴史、文化、名勝、特色あるまちづくりなどを題材にしたクイズ形式のテレビ番組「おじゃまします市町村街かどクイズ」を制作及び放映した。

ウ 市町村を紹介する「魅力発信～千葉県 54 市町村リレー広報～」掲載事業

事業費 15,000,000 円（予算額同額）

県紙「千葉日報」を活用し市町村の姿や魅力を紹介した記事を掲載した。また、千葉日報紙面に掲載した記事を編集し1冊の冊子にまとめ、市町村等に配布した。

新聞掲載期間（平成26年12月から平成27年3月まで、全27回）

(8) 市町村等の振興に関する調査研究及び資料収集並びに情報提供事業（定款第4条第1項第8号）

事業費 2,587,788 円（予算額 2,839,000 円）

県内市町村長の考えや市町村の紹介、千葉県からの情報、地域の施設情報などを発信する市町村情報誌「振興ちば」を、平成26年6月（第10号）、同年10月（第11号）及び平成27年2月（第12号）にそれぞれ発行し、県内市町村及び一部事務組合等へ配布した。

3 その他事業

- (1) 「千葉県市町村・一部事務組合職員名簿」を作成し、県内市町村等へ配布した。
- (2) 「千葉県市町村長写真集」を作成し、県内市町村等へ配布した。

4 諸会議の概要

(1) 評議員会

区分	開催日	場 所	議 事
第1回 (書面)	平成26年 4月9日	—	1 理事の選任について 以上承認
第2回	平成26年 6月20日	県自治会館	1 評議員の選任について 2 理事の選任について 3 監事の選任について 4 平成25年度事業報告及び収支決算の認定 について 以上承認
第3回	平成27年 2月25日	県自治会館	1 評議員の選任について 2 監事の選任について 3 平成26年度収支補正予算(第1号)の承認 について 4 平成27年度事業計画の承認について 5 平成27年度収支予算の承認について 以上承認

(2) 理事会

区分	開催日	場 所	議 事
第1回 (書面)	平成26年 4月9日	—	1 理事の推薦について 2 平成26年度第1回評議員会の開催につ いて 以上承認
第2回 (書面)	平成26年 4月11日	—	1 常務理事の選定について 以上承認
第3回	平成26年 5月26日	県自治会館	1 理事の推薦について 2 平成25年度事業報告及び収支決算の認定 について 3 定時評議員会の開催について 以上承認
第4回 (書面)	平成26年 6月27日	—	1 理事長の選定について 2 常務理事の選定について 以上承認

区分	開催日	場 所	議 事
第5回	平成27年 2月16日	県自治会館	1 平成26年度資金貸付事業について 2 平成26年度収支補正予算（第1号）について 3 平成27年度事業計画について 4 平成27年度収支予算について 5 平成26年度第3回評議員会の開催について 以上承認

(3) 監事監査

平成25年度事業報告及び収支決算について、平成26年4月30日に千葉県自治会館において、平成26年5月12日に鋸南町役場において、それぞれ、監事による監査が実施され、いずれも適正かつ妥当であると認められた。

(4) 都道府県市町村振興協会事務局長会議

ア 平成26年7月1日、東京都千代田区「全国都市会館」で開催された。

会議では、全国協会の平成25年度事業報告及び決算報告、評議員の補欠選任及び理事の選任、規程の一部改正、平成26年度市町村振興事業を掘り起こすための助成事業の報告があった。

その後、第一生命経済研究所首席エコノミストの永濱利廣氏より「日本の経済政策と景気動向～地域経済に与える影響～」と題し講演が行われた。

イ 平成27年3月20日、東京都千代田区「全国都市会館」で開催された。

会議では、まず報告・説明事項として、全国協会の平成27年度事業計画及び収支予算、事務局長の選任、公益目的財産額、平成27年度市町村振興事業を掘り起こすための助成事業、貸付事業の見直し、(公財)全国市町村研修財団の平成27年度事業計画について報告があった。

その後、総務省総務事務次官の大石 利雄氏から「地方創生と地方行財政の課題について」と題した講演が行われた。

(5) 関東地区都県市町村振興協会事務局長会議

平成26年11月6日から11月7日、神奈川県湯河原町で開催された。

会議では、関東各都県協会が抱えている法人運営上の諸課題等について討議した。

(6) 関東各都縣市町村振興協会事務担当者会議

平成 26 年 7 月 11 日、東京都千代田区「区政会館」で開催された。

会議では、関東各都県協会が抱えている実務上の問題点や疑問、事業の実施方針、市町村振興宝くじの PR 方法、今後の検討課題等について意見交換を行った。

(7) その他

関東ブロック選出の一般財団法人全国市町村振興協会評議員及び同協会地区幹事に、小柴常務理事兼事務局長がそれぞれ就任することとなり、次の関係会議に出席した。

ア 一般財団法人全国市町村振興協会評議員会

- ・平成 26 年 6 月 30 日

東京都千代田区「一般財団法人全国市町村振興協会会議室」で開催され、評議員会会議規則案、平成 25 年度事業報告案及び決算報告案、評議員の補欠選任案及び理事の選任案について審議された。

なお、評議員の補欠選任案の審議の結果、小柴常務理事兼事務局長が評議員に選任された。(平成 26 年 6 月 30 日就任)

(本評議員会には、前公益財団法人千葉県市町村振興協会常務理事兼事務局長の堺谷操氏が、一般財団法人全国市町村振興協会評議員として出席した。なお、同日の評議員会の終結の時をもって同協会評議員を辞任した。)

イ 一般財団法人全国市町村振興協会地区幹事会議

- ・平成 26 年 11 月 20 日

名古屋市「キャッスルプラザホテル」で開催され、全国協会から平成 26 年度及び平成 27 年度市町村振興事業を掘り起こすための助成事業、全国協会の貸付事業の見直し、全国協会のホームページに全国協会・地方協会共通のポータルサイト(会員専用ページ)を設置することについて報告があった。

その後、各ブロック提出協議事項(計 4 件)について討議した。

- ・平成 27 年 3 月 3 日

東京都千代田区「一般財団法人全国市町村振興協会」で開催され、全国協会の公益目的支出計画、平成 27 年度事業計画案及び収支予算案、平成 27 年度市町村振興事業を掘り起こすための助成事業についての経過報告について審議された。

5 役員の就退任

- 平成 26 年 4 月 9 日 次の者が役員に就任

理 事 小 柴 祥 司

(同年 4 月 11 日付け常務理事に就任)

- 平成26年5月20日 次の者が辞任
評議員 滝口 敏夫
理事 長谷川 大

- 平成26年5月21日 次の者が辞任
理事 中村 秀美

- 平成26年6月20日 次の者が役員に就任
評議員 小沢 暁民
評議員 松崎 勲
理事 平井 俊行
理事 志賀 直温
理事 滝口 敏夫
理事 岩田 利雄
理事 大澤 義和
理事 小柴 祥司
監事 清水 聖士
監事 白石 治和
監事 鈴木 修

- 平成26年12月11日 次の者が辞任
監事 鈴木 修

- 平成26年12月12日 次の者が辞任
評議員 小沢 暁民

- 平成27年2月25日 次の者が役員に就任
評議員 大井 知敏
監事 東 勝次

- 平成27年3月31日 次の者が辞任
理事 平井 俊行

6 評議員、理事及び監事の名簿（平成27年3月31日現在）

評議員

氏名	役職等
松崎 秀樹	浦安市長（千葉県市長会副会長）
大井 知敏	松戸市議会議長（千葉県市議会議長会副会長）
相川 勝重	芝山町長（千葉県町村会副会長）
松崎 勲	長南町議会議長（千葉県町村議会議長会副会長）
中村 教彰	白井農業生産組合長（元白井市長）
伊藤 義文	弁護士（伊藤綜合法律事務所）

理事

氏名	役職等
志賀 直温	理事長（代表理事） 東金市長（千葉県市長会長）
平井 俊行	千葉県総務部長
滝口 敏夫	木更津市議会議長（千葉県市議会議長会長）
岩田 利雄	東庄町長（千葉県町村会長）
大澤 義和	栄町議会議長（千葉県町村議会議長会長）
小柴 祥司	常務理事（代表理事） 当協会事務局長（千葉県市長会・千葉県町村会合同事務局長）

監事

氏名	役職等
清水 聖士	鎌ヶ谷市長（千葉県市長会副会長）
白石 治和	鋸南町長（千葉県町村会副会長）
東 勝次	公認会計士（公認会計士東勝次事務所）